

夏のボランティア ~ありがとうで繋がろう~

ライフ
ゆう

夏休みを利用して各年代の学生さんがボランティアに来てくれました。

喫茶 されじあん

高校生と中学生ボランティアさんが開くパンケーキ屋さん。ホイップクリームたっぷり♪と注文し、メンバーさんもスタッフも美味しく頂きました。ごちそうさま!ありがとうございます!

障害があってもスタッフさんの気配りや接し方で豊かな人生を送っていると思いました。

(中学1年生男子)

出張プラネタリウム

イベント係発案の出張プラネタリウム企画。小学生と年長さんのキッズボランティアさんが設営とメンバーさんのサポート。お手伝いありがとうございます!

会場まで移動するよー!

「ありがとう」と言ってもらって嬉しかったです。

(小学3年生男子)

ボランティアから生まれるありがとうにありがとう!!心温まる繋がりをこれからも大切にしていきたいです。



社会福祉法人「みなと舎」広報誌

SSKU たまごむし

社会福祉法人みなと舎・メンバー後援会 編集責任者 松田直
〒240-0104 神奈川県横須賀市芦名2-8-17
tel.046-855-3911 fax.046-855-3912

ケアホーム

カフェ エミとアカリ from 村の珈琲

ゆう通所がお休みだった8月9日(金)、ケアホームで夏のイベントが開催されました。村の珈琲がはなあかりに出張営業、しかもこの日は特別に無料でコーヒーを提供していただきました!コーヒーのいい香りが漂うなか、ご家族やみなと舎スタッフのほか、ご家族の送迎で来所したボランティアさんなども加わり、話に花が咲きました。事前に配布していたチラシの「差

し入れ大歓迎!」の言葉に応じて、お客様たちからはケーキやシュークリーム、ゼリーなど、たくさんのスイーツが届き、あっという間にテーブルがいっぱいに。「次回はいつ?」といった声も多く聞かれたので、今後も機会を見て開催したいと思います。今回参加できなかった方々もその際にはぜひお越しください。次回も差し入れ大歓迎!

ケアホームはなえみ管理者 里吉めぐみ

「和太穂」さんとの楽しいひととき

ゆう

7月29日(月)夏真っ盛り。暑さも吹き飛ばす「和太鼓」演奏を楽しみました。三浦太鼓「和太穂」さんです!メンバーさん、スタッフ共にワクワクしながらお迎えしました。太鼓を打つたび、身体に響く振動、篠笛の音色、皆聞き入っていました。終わるのを惜しみながら、「また来てね!」と心から願った熱い熱い一日でした。

ゆう支援主任 古谷妙子

公式サイト



みなと舎では一緒に働くスタッフを募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。



<https://www.minato-yuu.or.jp>

社会福祉法人 みなと舎

検索

求人問い合わせ: 渡邊 TEL: 046-855-3911 FAX: 046-855-3912



- ケアホームはなえみ
カフェ エミとアカリ from村の珈琲
- ゆう
「和太穂」さんとの楽しいひととき

- 法人本部
第一回 みなと舎学会

- ライフゆう
夏のボランティア ~ありがとうで繋がろう~

第一回 みなと舎学会

法人本部

200名以上のスタッフが在籍するみなと舎では、毎年恒例で法人全体の研修を行っています。例年、様々な企画の元、これまでの振り返り、そしてこれからの展望や挑戦を提案し、メンバーさんと共に「人生支援」の未来を創造していく場となっています。今年も、満を持して「みなと舎学会」と称し、任されている職務の醍醐味や魅力、そして挑戦してきた取り組みなどを発表する貴重な場となりました。



PROGRAM 01 人生支援

はじめに、メンバーさんの飯干朝菜さんのご両親より「朝菜との歩みを振り返る」というテーマのもと、朝菜さんの生い立ちを、それはそれは丁寧にお話しくさしました。朝菜さんのお母様の心の葛藤や、お父様の大きな愛情、そして妹さんからのお手紙は家族の生きてきたストーリーへの答え合わせとなる一本の映画を観るようで、多くのスタッフは感情移入し、涙を滲ませて聞き入りました。



→QRコードの「たまごむしTV」から当日の様子を動画でご覧いただけます。



メンバーさん(飯干朝菜さん)ご両親のお話

PROGRAM 02 特別講演

重症心身障害者施設の優れた実践研究を表彰する「第19回読売療育賞奨励賞」(読売光と愛の事業団主催)に、ライフゆう所属スタッフによる「重症心身障害者における家庭用ラップを用いた採尿方法の工夫」が選ばれたことを記念し、みなと舎学会にて特別講演として発表しました。

採尿が難しいメンバーさんの尿検査を、より快適に、より迅速に、より正確に、そしてメンバーさんと介護者の負担の軽減であり、誰でもできる手法という着眼点が評価されたことは、今後の大きな励みとなります。

重症心身障害者における家庭用ラップを用いた採尿方法の工夫



第19回読売療育賞 奨励賞受賞!

法人本部事務 柳澤千恵子

忙しい日々のルーティンに流されることなく、一日一日を大切にすることは、メンバーさんから教わりました。その一日一日をどんな風にクリエイティブにしているのかは、スタッフの心の充実とゆとりから生まれるような気が

がします。第1回みなと舎学会は、共に生きる私たちスタッフの心の充実を図る素敵な一日となりました。これがメンバーさんにも還元され、みなと舎の源流となっていくことを願ってやみません。

PROGRAM 03 私がみなと舎で 仕事をしている理由・魅力

掲題のテーマをかかげ、支援スタッフ、看護スタッフ、医師、理学療法士、栄養士など総勢10名が、様々な視点からアプローチしたみなと舎の魅力とメンバーさんとの歩みを発表しました。普段、共に働いている仲間が考えていること、気付いたこと、挑戦したこと、乗り越えてきたことを聞けることは非常に貴重な時間であり、新たな視点や気付かされたこと、学ぶことなど多くの「気づき」を享受できました。なによりみな楽しそうに発表するのでこちらも元気になります。

私がみなと舎で仕事をする理由とその魅力とやりがい

みんなで人生の舞台を創り上げる場所

そうだ飲み会をしよう ~BARはじめました~

ヘルパーのお仕事やりがいと成長



声を合わせて ヘルパーゆう!

PROGRAM 04 表彰式

真面目な表彰式かと思いきや、そこはみなと舎流です。全てがオンリーワンの賞名で、「みんな違ってみんな良い」というメッセージでもありました。結果より経過と、そこに滞在したみんなへの響きが大切な評価ですね。



みんなで記念写真!



Ole!



かんぱ〜い!



PROGRAM 05 懇親会

会場を「THE HOUSE FARM」に移して懇親会の始まりです。異なる事業所、職種のスタッフがくじ引きでグルーピングされ、ドキドキワクワク楽しい交流タイムとなりました。懇親会のフィナーレはマツケンサンバでパレードです。最後はみんなで「Ole!」。

♡♡